



まっすぐ。

動けば変わる2月議会で表れた活動の成果

障がいを持つ子どもに光
新しい助成制度が始まります

2月議会において、昨年6月議会の一般質問において要望した、「軽・中度難聴児への補聴器購入時の助成」について、平成24年度から新たに助成制度が設立されることが決まりました。

現在、難聴児の補聴器購入時の助成は、障がい者手帳の交付を受けた方に限られていて、高い音域だけが聞こえないといった軽度・中度の難聴で、障がい者手帳を持っていない場合は、補聴器の購入費が全額自己負担でした。

難聴児にとって補聴器は、日本語を正しく習得する上で大きな役割を果たしています。しかし補聴器は、標準的なものでも片方で約5万円。高いものでは10万円を超えるものもあり、大

きな経済的負担を強いられていました。このことから軽度・中度であっても補聴器が必要な子どもにも助成制度を設けるよう働きかけた結果、平成24年度から県と市町村が3分の1ずつ負担する助成金制度が設立されます。

いまのところ小学生以上が対象ですが、今後幼児への適用拡大を求めていくことにいたします。

詳しくは島根県障がい福祉課へお問い合わせください。

避難について公共交通(バス)を使った避難が前提となっていることがわかりました。

島根県に於いて自動車は「生活必需品」であり、福島の被災時にも、救援に向かうバスの運転をバスのドライバーが拒んだため、代わりに警察官が運転して救援に向かった事例や、多くの被災者が避難後も自家用車が必要とされていたことがわかっています。

そこで2月議会において、公共交通での住民避難だけでは実情にそぐわないことを指摘。質問に対し溝口知事は「県警とよく相談をし、福島での実態もよく調べ検討してまいります。」と答弁。

今後自家用車での避難を想定した避難計画の充実や交通対策に取り組んでいくことになりました。

普通高校でもキャリア教育の充実へ

私の方針でもある「すべての基本は人づくり」この考えのもと、人間力、生きる力を育むキャリア教育について昨年の11月議会でも問題点を指摘しました。キャリア教育の中で、高校生が職場体験をする「インターンシップ」について、その実施状況を調査したところ、都市部の普通科高校を中心に、県立高校25校中、15校では実施されていないことがわかりました。

この件については、来年度から未実施校にも拡充する方針を示し、2月議会では教育長が「普通科高校を対象としたインターンシップ・職業人の講話 県内企業の見学授業などを多くの学校で実施出来るように現在計画中である」との答弁がありました。

まっすぐ。

2月議会の主な質問と答弁

① 原発事故発生時の広域避難について

Q 自家用車での避難も想定すべきであり、これに関連した交通対策などが求められる点について

A 溝口知事／県警とよく相談をし、福島での実態もよく調べ検討してまいります。

Q 仮に原子力災害が大震災によるものだった場合の通信手段の確保また、通信手段が使えなくなった場合の情報伝達はどう行うのか？

A 溝口知事／関係市への衛星携帯電話を整備してもらった。そして周辺市との衛星回線などによるテレビ会議システムも構築する事になった。住民の方々の情報連絡については防災行政無線、屋外のスピーカー、携帯、広報車などあらゆる手段を利用して対応するとい

② 観光振興、神々の国しまねプロジェクトについて

Q 近年落ち込んでいる一人当たりの観光消費額をある

う事になっているが、更に確実な方法がないか関係市と共に検討していきたい。



まっすぐ。

来年度予算は5,277億円

平素は岩田ひろたかの活動に対し、ご支援をいただきありがとうございます。

去年春の統一地方選挙で初当選をさせていただきました。約1年が経ちました。6月定例議会から毎議会で質問に立たせていただき、若輩者ではございますが、必死に県政課題に取り組みせていただきました。また「徹底した現場主義」を実践

すべく様々な調査活動や、政治家同士の対談の場を作るなど、新しい試みにもチャレンジさせていただきました。政治に対する信頼が揺らぐ昨今だからこそ、島根の未来をしっかりと次の世代へ引き継ぐ責任世代の一人としてこれからもまっすぐ取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を願います。

③ 防災・経済対策・医療などに重点配分

平成24年度当初予算の審議を中心に、来年度の予算や主要な政策を検討する2月定例県議会が3月16日まで開かれました。

平成24年度の島根県の当初予算は5,277億円。前年度よりも45億円少ない予算となりました。震災や原発事故などを

踏まえた防災対策などの安全安心な県民生活の確保。円高などの経済不安に対応するため、農林水産業・商工業の産業振興と経済対策。県民が安心して暮らせるような医療・福祉と教育の充実、「神話博しまね」の開催など県内各地の賑わいの創出や全国への魅力発信を重点的に推進していきます。

このほか、定住対策・中山間地域対策、交通の確保、防犯・環境対策、地域活性化など、当面する課題の解決や県の総合的な発展に資する事業には、予算を重点配分しています。



岩田ひろたか

Q げるための対策について
A 商工労働部長／市営バスや観光タクシーの運行などにより県内各地をゆつくりと周遊していただくことで滞在時間の延長と宿泊日数の増加を狙う。島根らしい満足度の高い食の提供や、地域資源を活用した付加価値の高い土産品を開発する事により、一人あたりの観光消費額の増大を図っていききたい。

Q 市町村との連携がしっかり取れているのか疑問を感じる
A 商工労働部長／事業の推進にあたって市町村にも主体的に参画、行動を求めている。県民向けの助成制度の説明会、観光や地域づくりに携わる方との意見交換会、公民館でのふるさと学習会などを開催している。

Q いま注目されているインターネットでの動画配信。「Uストリーム」を島根の観光地や神話博の情報発信に活用してみては？
A 商工労働部長／インターネットを活用した情報発信には様々な手法があるので、Uストリームなどの手法もよく検討し、効果的な情報発信に努めていく。

③ 図書館活用教育とキャリア教育について
Q せっかく配置した司書教諭を活用するにはサポート教員の増員など更なる司書教諭のサポート体制の充実が必要では？
A 教育長／平成20年度から司書教諭の授業を代替する非常勤講師を配置している。今年度からは配置講師を増員し、県内の小中学校17校に配置をし

た。研修会などで情報交換を行い、学校全体で司書教諭をサポートする体制を作っていく。

Q 来年度から普通高校でもインターシップの実施に積極的に取り組むことになっているが、具体的にどのような取り組みのか
A 教育長／キャリア教育について現在専門高校を中心に行っている産学官連携の課題研究授業を理科にも拡充する。普通科高校を対象としたインターシップ・職業人の講話県内企業の見学授業などを多くの学校で実施を出来るように現在計画。インターシップについては、普通科高校においても医療体験・福祉体験などの社会体験実習を含め、生徒が様々な活動を行って、社会や職業を体験的に学習出来る機会を増やしていきたい。

質問の様子は島根県議会のホームページでもご覧いただけます。「島根県議会」のHPで検索、もしくは下記URLをご覧ください。
http://gikaiair.pref.shimane.lg.jp/vod_201202.html
「まっすぐ。レポートに」に関するご意見・ご感想は
iwatahirotaka@ray.ocn.ne.jp
※お名前と連絡先をご明記下さい。
お電話でのお問い合わせ先／TEL.24-2323



まっすぐ。

写真で見える1年間の主な活動

県議選



平成23年4月1日告示の島根県議会議員選挙に出馬。政治家としての1歩を踏み出すことができました。

初登庁



初登庁の時の1コマ。職員から県議会議員バッジをいただき決意を新たにしました。

原発視察



福島第一原子力発電所での事故を受けて、島根原子力発電所でも15mの津波に対応できる堤防を作るほか、浸水対策、予備電源の確保などの安全対策が行われており、県議会でも視察したほか、所属会派の民主

民クラブでは「原発安全対策調査チーム」を設置。新潟県の柏崎刈羽原発や高速増殖炉もんじゅの視察などを行いました。

赤ちゃん登校日視察



県議会では文教厚生委員会に所属。医療・福祉・教育の分野で積極的に調査活動に取り組んでいます。写真は邑南町で行われた「赤ちゃん登校日」の様子。

奥出雲視察



議会が開催されていない期間には精力的に視察を行っています。写真は奥出雲町の企業がやっている食用花の栽培施設。

尾原ダム視察



所属会派民主県民クラブで尾原ダムを視察。

若手政治家



県議会と市町村議会、党派を超えて議論する場を作ろうと昨年末からインターネットの動画配信「Uストリーム」を使った番組配信に取り組んでいます。地域の未来を思う気持ちは同じです。写真は3月に行った「フレッシュ政治家・市民が島根の未来を語る会」の1コマ。

地域活動



議員活動の合間に地域の活動にも積極的に参加しています。公民館活動をはじめ、天神祭りでお神輿を担いだり、昭和50年生まれの若者が作る「ごまかい」の清掃活動に参加したり主体的に地域づくりに参加しています。



座敷わらしのコーナー☆

こんにちは。
岩田ひろたか事務所所長、座敷わらしです。メ(・ω・*)
昨年4/1の県議選から、早くも一年が過ぎました。
この事務所も5月末にはなんとか形になり、手探りでここまでやって参りました。
事務所に来て下さった方々には色々なお話をさせていただき、勉強をさせていただきました。ありがとうございました！
これから2年目に入ります岩田事務所ですが、私の役割を日々模索していきたいと思っております。
それにしても…冬は隙間風に襲われるこの事務所！寒かった！
暖くなるこれからの季節はちょっとした避暑地です。
引き続き、お客様をお待ちしております♪(・v・)♪
庄司 夏子。